文部科学省新学術領域『学術研究支援基盤形成』
コホート・生体試料支援プラットフォーム 共催
徳島大学大学院 医歯薬学研究部 医科学部門 社会医学系 予防医学分野 共催

# 第３回 遺伝統計セミナー
# 『ゲノムコホート研究における遺伝統計学』レポート

これまでの２回は、いわて東北メディカル・メガバンク機構（IMM）のある岩手県の岩手医科大学矢巾キャンパスで開催してきたが、第３回となる今回は本セミナーの趣旨でもある非大都市圏での開催をさらに展開するため、日本多施設共同コーホート研究（J-MICC 研究）徳島フィールドに協力いただいた。2018 年８月２日（木）、３日（金）の２日間に渡り徳島大学蔵元キャンパスにて開催した。今回は全国から 53 名の参加があり、前回の 45 名を上回る参加者数となった。

初めに、本プラットフォーム分担者である J-MICC 研究主任研究者の若井健志・名古屋大学大学院教授による開会の挨拶があり、本プラットフォームの活動により国内ゲノム疫学研究が推進され、被支援者から複数の論文が公開されたこと、さらには今回の開催への期待が述べられた。続いて、株式会社スタージェンの斎藤聡部長から、遺伝統計学と連鎖解析の基礎、さらに参加者が持参した PC を用いた全ゲノム関連解析（GWAS）解析のハンズオンセミナーが行われた。今回は会場に設置された PC を使うのではなく、実習後に自らが構築した環境を研究室に持ち帰ることができるための試みであったが、機種依存の問題などがあり、受講者への TA による手厚いサポートが必要となった。

斎藤氏によるセミナー

TA としてサポートする須藤助教

初日の午後は米国の Keystone Symposia を参考に自由討論とフリータイムを設定し、今回の開催地である徳島の文化に触れる試みを行った。続いて夕刻からは共催である徳島大学医学部予防医学分野の釜野桜子助教、本プラットフォームの支援を受けた佐賀大学臨床研究センターの島ノ江千里特任准教授の講演があり、その後徳島大学医学部予防医学分野の有澤孝吉教授の挨拶に続いて夕食を取りながら支援を受けた 10 名の研究者から Lightning Talks の発表があった。

釜野助教による講演

有澤教授による挨拶

さらに、斎藤氏、国立がん研究センターゲノム生物学研究分野の白石航也ユニット長、IMM の清水厚志特命教授、同 須藤洋一特命助教と参加者による総合討論があり、被支援者である疫学者や分子生物学者とバイオインフォマティシャンが密に連携して解析を進めるためのコツや課題が議論された。

総合討論

翌朝は名古屋大学大学院医学系研究科予防医学の菱田朝陽講師、清水特命教授の講演に続き、名古屋大学先端医療・臨床研究支援センターの中杤昌弘講師、東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門の成田暁助教、IMM の小巻翔平特命助教、須藤特命助教により、GWAS 解析後の解析の流れについてのハンズオンセミナーが行われた。

中杤講師によるセミナー

以上の発表をもって、講習会は盛況のうちに幕を閉じた。今回は主催者が勤めるキャンパスから1,000 km 以上も離れた徳島での開催となったため、準備に入った当初は解析環境の用意などに不安があったが、徳島大学の有澤教授をはじめとする予防医学分野の方々の手厚いサポートがあり、参加者にはストレスなく受講していただけたと思う。参加した研究者からも次回の開催を期待する声をいただき、すでに第４回、第５回の開催へ向け、準備が進んでいる。今後もいただいたご意見を元に、本プラットフォームの支援を受ける研究者の方々に役立つ場として本セミナーを継続・発展させたい。

岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構
生体情報解析部門